

「総ぐるみ」新聞

第4回 お出かけサポート

ロイヤルウイング号 「ランチクルーズ」

望月 富子

毎回好評のお出かけサポート、今年から年2回開催することになり、企画の検討を始めました。3月の陽気に誘われ、「遠出をしてお花見をしましょう」と案を練っているうちに、記録的な暖かさのため、梅・桜・チューリップ等春の花が一斉に咲いてしまい、花見の時期を逃してしまいました。

そんな折、横浜湾の「ランチクルーズはどうか」という提案があり、早速実行することになりました。前日まで快晴が続いたものの、当日の4月19日は、北風が吹いて寒いという予報でしたが、心配無用でした。

朝9時半、3台の車に分乗して日限山事務所前を出発、一部の人はバスと地下鉄で、総勢23名が横浜の大栈橋に向かいました。

ロイヤルウイング号は二、八七六トン、定員六三〇人の船、乗船すると程なく銅鑼の合図と共に12時に出航。2階の貸切りの部屋で、飲茶のランチが始まりました。

前菜・スープ・温采・揚げ点心・蒸し点心・炒飯・胡麻団子・杏仁豆腐が次々と出て、大勢でいただく美味しい食事に、参加者一同満足された様子でした。食事中も、船の中とは思えないほど、揺れもなく穏や

かだったことは、何よりでした。

食後は、デッキから海の景色を楽しみもした。大栈橋を出港した船は、ベイブリッジの下を通って東京湾でUターン、ベイブリッジ↓みなとみらい↓大栈橋へ13時45分に到着。1時間45分の船旅でした。

帰路は、山下公園前の新緑の銀杏並木を通り、港の見える丘公園、中華街をドライブして、午後3時半に日限山に到着、満足の1日でした。ドライバーの皆様方には、万障繰り合わせていただき、ありがとうございました。

▼ランチクルーズに参加して 勝部智恵子

旅行が大好きで、未知の国へ旅立って楽しんでいましたが、旅先で骨折、その後回復したものの、医者が見誤って血豆と診断した箇所が、実はメラノーマ(悪性黒色腫)の皮膚癌と判り、現在も週1度、横浜市大病院に通って治療をしています。わが国ではまだ珍しい病とのことで、精神的にとっても落ち込みました。

そんな折、宮崎理事長とお会いしてNPOにお世話になることになりました。日々身体が癌に占領されていく気分が襲われ、

NPO総ぐるみ福祉の会事務所は日限山4・45・10（八四六―八八五〇）
入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」日限山4・7・1



遠出も無理となつて淋しい想いでいましたので、今回のお出かけサポートのお誘いは、久しぶりに心躍るものでした。

送迎の車で出かけ、大栈橋からゆっくり船が動き始め、窓外を眺めながら中華風ランチを美

味しくいただきました。

当日はあいにくの曇り空で、風も冷たかったのですが、デッキに出て、広い海原と遠くベイブリッジやランドマークタワー・マリントワーなどの見慣れた景色を眺め、横浜湾クルーズを楽しみました。

スタッフの皆様の優しい心遣いと、参加者の楽しそうな笑顔に接して、企画の良さに感謝の気持ちでいっぱいでした。まことにありがとうございました。

▼先日の船旅の思い出

益田 泰彦

クルーズ当日は、4月半ば過ぎというのに風が冷たく、老婆の老婆心に従ってコート持参で参加しました。



車の助手席に乗せていただき、高齢の参加者を巡って、10時に横浜港に向かつて出発しました。道路は渋滞もなく、基の師匠の森さんのハンドルさばきも快調で、40分ほどで大桟橋に到着。乗船までの時間待ちがあり、コートを着て屋外へ出たら強風に飛ばされそうになったので、船着場や売店などの見学をして過ごしました。

11時45分にゲートが開いて乗船し、団体用船室に案内され、談笑しながら中華料理を残さず腹いっぱい食べました。

船はほとんど揺れずに湾内を航行し、ベイブリッジをくぐって湾外に出て、船足を速めたと思ったらすぐにUターンして帰路につき、波はたいしたことにはないように思えたのに、ちよつとがっかりしました。

食後は、デッキの最上段まで昇り、大型の石油や自動車の運搬船が停泊する横浜港を遠望している、早くも下船の合図となりまわりました。帰路の車は磯

子を回って、参加者全員無事に帰宅できました。皆様に大変お世話になり、御礼申し上げます。

▼参加者から寄せられた感想

◎今回は、車の運転ボランティアとして参加しました。4月下旬としては曇り空の寒い日で、雨にならなかったのが幸いでした。昼食を食べながらのクルージングでしたが、食後はデッキに出て横浜湾を海上から眺め、横浜の素晴らしい景色を再確認しました。

参加した皆様が笑顔で1日をすごされたことを見て、企画された方々の努力の賜物と思い、感謝しています。

◎船でお食事するのは初めてなので参加しましたが、楽しかったです。今回は、ホテルでお食事というのもよいと思います。

◎船内のお食事は、1品1品温かいものが出され、美味しかったです。

船内の移動には階段もありましたが、車椅子使用の方も手すりを使って元気に歩いて昇られ、とても楽しそうでした。デッキに上って海の風を吸うと、気分はすっきり、日頃できない体験をさせていただき、楽しい1日でした。皆様に感謝です。

◎車で連れ出していただけで楽しいので、次回は横浜の名所を回り、ホテルニューグランドでお食事はいかがでしょう。

◎いつもは歩けないので車椅子を使って移動しているけど、船の中の階段を手すりにつかまって昇ることができました。大変だったけど、リハビリになったかもしれないと思います。とても楽しかったです。

▽主催者側として、今回のお出かけサポートは下見を十分にしないまま当日を迎えたので、駐車場の使い方が不案内であった。また、食事の料理の出方や所要時間等が前もってわからなかったもので、デッキに出るタイミング等を参加者達にうまくリードできなかったなどの反省点が生じた。

講演会のお知らせ

日程 7月6日(土)

午後1時半～3時

演題 「終の棲家をどう選ぶか」

◎新設のサービス付き高齢者住宅とは
◎有料老人ホームの見分け方、その他

講師 高齢者ホーム入居相談センター
ロイヤル入居相談室 栗田 潤氏

会場 西洗・港南プラザ自治会館1階

浴衣や帯等、供出のお願い

宮城県被災地で、今夏、被災者を元気づける盆踊りサポートが企画されていますので、当会も協力したいと思っております。

浴衣 (男性用や子供用のもの大歓迎)
帯や腰ひも、下駄など

供出してくださる品があれば、日限山荘(火曜・金曜)または事務所まで。